

◇◇近畿病院図書室協議会◇◇

平成 20 年度 第 35 回 総 会 報 告

日時：2009年3月13日（金）

14:15～16:00

会場：ペアーレ神戸

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記選出

議長：森島純一

（大阪府済生会千里病院）

副議長：西村和代（京都南病院）

書記：山口佐保（大阪厚生年金病院）

3 議案審議

1) 平成 20 年度活動報告

2) 平成 20 年度会計・監査報告

3) 平成 21 年度活動方針

4) 平成 21 年度事業計画

5) 平成 21 年度予算

6) 役員改選

7) 平成 21 年度会長・事務局長承認

（議案 3）～7）は審議の結果承認された）

閉会

総会員数：126 機関（うち議決権 122 機関）

出席：25 機関

委任状：84 機関

合計：109 機関（会員の 2/3 以上の数を
みだし総会成立）

議案 I. 平成 20 年度活動報告

昨年度に引き続き、平成 20 年度は近畿病院図書室協議会所蔵目録 Web 版（KinkiWebcat）のメンテナンス、研修会開催、会誌発行などの事

業活動を行った。幹事は若干入れ替わり、新規に 1 名を加えた 9 名の幹事で運営にあたった。今年度の活動を総括するならば昨年度と同様に、従来の事業の継続に重点を置き、組織内の充実を図った 1 年といえよう。

継続事業のうち、教育研修活動では、定例の研修会を 2 回、新任向けの勉強会を 1 回行った。また昨年度に引き続き、好評であった 3 回シリーズの夜間勉強会を開催した。

第 119 回研修会は、2009 年 3 月 13 日に「事例・研究報告会」として例年と同様、第 35 回総会と同時開催する。

出版広報活動では、会誌「病院図書館」28 巻を定期刊行した。連載や報告記事のほか、各号ともユニークな特集を組んだ。しかしながら依然として発行状況は遅れ気味であり、年度に合わせた発行は難しく、4 号発行は 4 月以降になる予定である。

当協議会ホームページについては、さらに改修を加え、内容、見やすさ、使いやすさを意識したサイト作りを心掛けた。今後も広報活動のツールとしてさらなる有効利用を目指したい。

会員向け広報のひとつとして、2008 年 12 月より電子メールを用いたニュースレターの配信を開始した。2009 年 2 月現在 106（104 機関）の登録がある。同年 2 月に第 2 号の発信を行った。将来的には新たな情報発信のツールとして活用したいと考えるが、IT 環境に恵まれない会員機関が 24 カ所あるため、ニュースレターだけの情報発信は行わず、受信できない会員へはファクス送信を行った。

医学文献情報活動の中心となる KinkiWebcat の稼働は 3 年目を終え、当面の修正作業は一段落した。来年度は有料での改修作業に入る予定である。会員からの疑問・質問、不具合への対

応、広報などは目録サポートチームがあたり、必要に応じて現時点でできる限りのことを行った。

今年度の統計調査は詳細調査の年であった。集計した報告書は会員へ発送済みである。会員から「患者図書室を運営している施設名」や「多く使われている図書館システム」の情報を希望する問い合わせがあった。図書館運営の参考になる情報の公開については今後の検討課題としたい。

対外交流では、日本医学図書館協会とは総会分科会への参加、会員間の文献相互貸借など従来通り交流を深めた。日本図書館協会健康情報研究委員会主催のワークショップ「健康情報を評価する」の開催にあたっては、日本医学図書館協会近畿地区会を通じて、広報などの協力要請があった。また、第118回研修会を東海地区で開催した際には東海地区医学図書館協議会の後援をいただいた。その他、日本病院ライブラリー協会や各地区の病院図書館ネットワークとは、それぞれ会誌交換や寄稿などの交流を行った。

ライフサイエンス系図書館団体連絡会のワーキンググループ（健康医療情報サイトの運営などの活動）には、当協議会からも協力員1名を派遣した。一般市民への健康情報の提供など、徐々に活動の輪を広げている。

今年度は近畿地区医学図書館協議会、日本薬学図書館近畿・中国・四国地区協議会との協同開催によるシンポジウムは開催されなかった。

I-1. 各部からの報告

I-1-1. 研修部

1. 活動報告

2回の勉強会、3回の研修会を開催した。

(1) 研修企画

[第27回勉強会]（新任者研修会）

日程：2008年5月11日（日）

場所：藍野大学中央図書館

プログラム：

1. 近畿病院図書室協議会について
事務局 林 伴子（社神病）
2. 病院図書館の基本業務—整理と保管—
書籍：研修部 田中律子（大滋慶）
雑誌：研修部 林 伴子（社神病）
3. 文献入手について
研修部 中村雅子（阪府母）
4. 藍野大学中央図書館の紹介と見学
増田 徹（藍野大）

参加者数：13名

[第117回研修会]

日程：2008年6月28日（土）

場所：株式会社メディカ出版1階セミナー室
テーマ：電子ジャーナル導入検討とILL進化論

プログラム：

1. 電子ジャーナルの利用統計を読む
大阪大学附属図書館 小川晋平
2. Journals Consult ジャーナルズコンサルティング
エルゼビアジャパン株式会社
丸善株式会社
3. 賛助会員によるプロダクトレビュー
 - ① JDream II の案内
齋藤仁夫（JST）
 - ② 電子ジャーナル商品紹介
平本賢助（ユサコ）
 - ③-1. ProQuest の紹介
長谷川智史（SMD）
 - ③-2. PierOnline の紹介
馬淵沙織（SMD）
 - ④ 医中誌 Web の現況
春名理史（医中誌）
4. 出版における過去・現在・未来
株式会社メディカ出版 林 亨
5. 国立情報学研究所(NII)の事業について
国立情報学研究所(NII) 平田義郎
6. グループワーク「I.L.L.進化論」

参加者数：29名（うち会員外1名）

[第 28 回勉強会] (Access 応用講座)

山室真知子

日 程：1 回 2008 年 7 月 9 日 (水)
2 回 2008 年 8 月 13 日 (水)
3 回 2008 年 9 月 10 日 (水)
時 間：19:00～21:00
場 所：大阪滋慶学園 大阪ハイテクノロジー
 専門学校
内 容：蔵書管理における Access 応用講座
講 師：渡邊弘子、三田麻衣子
 (パソコンスクール LaLa メイツ、大
 阪ハイテクノロジー専門学校講師)

参加者数：22 名

[第 118 回研修会]

日 程：2008 年 12 月 6 日 (土)
場 所：刈谷豊田総合病院
テーマ：研究支援
プログラム：

1. 総合病院の図書室における 歯科医学書に
 ついて
 刈谷豊田総合病院 宇佐美雄司
2. 図書館によるビジネス支援サービス
 —その医療分野への応用可能性を含めて—
 国立国会図書館 小澤 弘太
3. 病院における看護教育について
 刈谷豊田総合病院 石川真理子
4. 病院施設・図書館見学

参加者数：21 名 (うち会員外 8 名)

[第 119 回研修会] (事例・研究報告会)

日 程：2009 年 3 月 13 日 (金)
場 所：ペアーレ神戸
プログラム：

1. 『図書室だより』の web 配信を開始して
 京都南病院 浜田美智代
2. 看護専門学校及び病院図書室の利用状況
 について
 京都第二赤十字病院 川野真樹
3. 当院図書室の現状と課題
 住友病院 石川尚子
4. 病院図書室におけるサービス (情報提
 供) の専門性を探る

参加者数：44 名 (うち会員外 5 名)

(2) 研修部会議

第 1 回 2008 年 4 月 27 日 (日) 大阪 3 名
第 2 回 2008 年 5 月 28 日 (水) 大阪 4 名
第 3 回 2008 年 8 月 13 日 (水) 大阪 4 名
第 4 回 2008 年 9 月 10 日 (水) 大阪 4 名

今年度は 2 名が退任し、会員へ公募したもの
の新たな増員は実現せず、昨年度に引き続き 4
名で運営した。企画方針としては、2 回の通常
研修会、小規模勉強会の複数開催、ひとり一台
のパソコンを使用した夜間 3 回シリーズの勉強
会を 2 テーマ、などを掲げた。会員からの多角
的な要望に即応するため、開催曜日・時間帯な
どを模索した。参集による会議を補てんする手
段として電子メールにて会議を行った。

(3) 勉強会

第 27 回は、新規入会機関の担当者と新任担当
者を対象とした。講師の都合で日曜日開催と
なったが、休日だからこそ参加が実現した会員
もいたので、休日開催による不安は払拭できた。

第 28 回は、コンピュータソフト Microsoft
Office Access を使用する内容であるため、職場
に同ソフトを所持していない会員には参加しに
くいものとなったが、図書館システムを自前で
構築する方法の一手法としてアピールできたの
ではないか、と考えている。

(4) 研修会

今年度は、国立情報学研究所と国立国会図書
館より講師を招聘した。国レベルで取り組んで
いることに、ワンパーソンの小規模図書館でも、
参加できるという可能性を知っていただけた、
と考えている。

第 117 回では、企業の施設を借用して開催し
た。交通の便もよく、研修に必要な設備が完備
しているので理想的な会場であった。

第 118 回の会場は東海地区であったので、東
海地区医学図書館協議会の後援協力をいただい
た。新たな人的交流が育まれた。

2. 今年度活動報告

研修部員の企画力を向上させるための取り組みを検討したが実現できなかった。具体的には他団体主催の研修会・研究会・勉強会などへの派遣であるが、関東での開催が多いので、時間的・経費的に困難であった。参加しやすい関西でのイベント情報などを電子メール会議などで交換する程度となった。

研修部員自身の機動力が低下していることにより、開催を予定していた「製本・本の補修講習会」と、医療者の要望に即応できる検索スキルを身につけるための「文献検索勉強会」を実施できなかった。来年度の課題としたい。

研修会開催後に当日配布資料をあらためて会員宛てに配布するという作業が遅延している。作業手順を見直し、早期の発送を目指したい。

より多くの方に参加していただくこと、会員の参加費用を無料としている。しかし、その真意とは裏腹に参加者数が伸び悩んでいる。当協議会は、個人加盟ではなく、機関加盟であり、会員機関からの支援があってこそ協働が実現する。研修会や勉強会、さらに関連の催しなどに、図書館担当者を派遣することは会員機関の義務であることをあらためて認識していただきたい。

3. 部 員

部 長：中村 雅子（大阪府立母子保健総合医療センター）

部 員：田中 律子（大阪滋慶学園）
林 伴子（社会保険神戸中央病院）
高橋 育子（姫路聖マリア病院）

I-1-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌 27 巻 4 号および 28 巻 1、2、3 号を発行。
配布部数：219 部（会員 126、講読会員 73、交換・寄贈 20）

印刷部数：各号 300 部

(1) 会誌内容概略

27 巻（2007 年）

4 号（発行 2008 年 7 月 46 頁）

特集：コメディカル部門を知る 其の二

病院図書館のマネジメント

歯科技工士の一般には知られていない技術

当院における管理栄養士の業務と役割について

当院における臨床検査技師の役割

作業療法士

解説：図書館利用案内を考える

研究報告：国外における一般市民への医学情報提供の現状 文献的考察 医学図書館による働きかけ

28 巻（2008 年）

1 号（発行 2008 年 10 月 52 頁）

特集：図書館ホームページ開設への道

HTML 基礎講座

Web ユーザビリティ 基礎と実践

病院図書館ホームページ“HOLS (Hospital Library Support)”について

病院図書室のホームページ

ホームページをつくる楽しみ

近畿病院図書館協議会のホームページ (<http://www.hosplib.info/>) を担当して

2 号（発行 2008 年 11 月 51 頁および別冊会員名簿 19 頁）

特集：総会・事例報告会（第 116 回研修会）

「親と子のとしょかん」3 年目をむかえた入院児向図書提供

患者図書室の構想と立ち上げ（抄録）

国外における一般市民への医学情報提供の現状（文献的考察）—病院図書館における現状—

定期的な見計らいの試み

受入資料の装備を主とした当院図書室業務の見直し

3 号（発行 2009 年 3 月 68 頁）

特集：患者図書館

総説「患者図書館」患者への図書館

サービスの現状と課題

NPO 医療の質に関する研究会の患者図書室プロジェクトについて「協働の医療」を築

く：患者図書室機能の新たな展開
患者さん図書室「道しるべ」
患者図書室「さんぽ図書館」の取り組み
患者図書館見学記

(2) シリーズ掲載

- 「いますぐ役立つホームページ」
25. 全国新聞総合目録データベース (Vol. 28 No. 2)
「電子資料解題」
6. メディカルオンライン (Vol. 28 No. 1)
7. CiNii (Vol. 28 No. 3)
「図書館員のツボ」
5.. 病院図書館と著作権 (Vol. 27 No. 4)
6. 本の消毒について (Vol. 28 No. 1)
7. EBM について (Vol. 28 No. 2)
8. NBM について (Vol. 28 No. 3)
「ちょっとこぼれ話」
22. (Vol. 27 No. 4)
23. (Vol. 28 No. 2)
24. (Vol. 28 No. 3)

(3) 掲載広告各社

サンメディア
科学技術振興機構
ユサコ
医学中央雑誌刊行会
ベルブック
丸善
ナカバヤシ
南江堂

(4) 編集会議

- 第1回 2008年4月13日(日) 茨木 5名
第2回 2008年6月8日(日) 茨木 5名
第3回 2008年10月18日(土) 茨木 5名
第4回 2009年1月17日(土) 茨木 5名

2. 今年度総括

現在、会誌編集部は少人数ながら経験年数も増え、編集作業が安定してきている。今後発行のペースを早めるとともに、レベルのさらなる向上を目指してがんばっていききたい。

協議会会誌であるとの編集方針から、会員の

図書館員に積極的に原稿を依頼しているが、それだけでなく協議会会員の質向上への寄与という点で、会誌編集活動の有効性を強く感じている。個々の編集活動に加え、編集部員が執筆する「図書館員のツボ」は有益な研修の場となっており、今後さらなる会員の参加を期待している。

来年度は部員1名が産休に入る。残った部員が協力して何とか持ちこたえていきたいと考えている。

3. 部員

部長：増田 徹（藍野大学）
部員：井上智奈美（三菱京都病院）
寺澤 裕子（関西労災病院）
松尾 知香（石切生喜病院）
若杉 亜矢（松下記念病院）

I-1-3. 統計調査部

今年度の統計調査は、平成19年度の会員図書館の実状について調査した。

調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、今年度は詳細調査の年にあたり、年次統計と詳細調査の両方を実施した。

1. 図書室統計調査報告書の発行

- a. 調査対象期間：2007年4月1日～2008年3月31日
b. 調査対象：全127会員施設中、賛助会員を除く122施設に依頼
c. 調査項目：年度統計および詳細調査
d. 作業経過：
2008年8月18日 調査用紙を各施設へ発送
2008年8月18日 ホームページに統計調査発送の告知と回答依頼
2008年9月30日 回答締切日
2008年10月14日 未回答施設へ回答依頼
2008年10月31日 回答最終締切
2009年2月15日 統計調査報告書発送
e. 回答施設：79施設（回答率 64.8%）

2. 文献の相互利用 一平成 19 年度協議会全体
での件数一 (2009 年 1 月 28 日)

5,250 円/月 10,500 円

一相互貸借依頼一 (79 施設)

協議会会員	6,979	(19.1%)
会員以外の病院	5,290	(14.5%)
大学図書館	15,962	(43.7%)
文献手配業者	5,728	(15.7%)
国立国会図書館	573	(1.6%)
その他	1,963	(5.4%)
合 計	36,495	(100.0%)

一相互貸借受付一 (79 施設)

協議会会員	7,599	(55.2%)
会員以外の病院	5,496	(39.9%)
その他	665	(4.8%)
合 計	13,760	(100.0%)

3. 経 費

支出:

USB メモリー	2,280 円
調査用紙コピー代	17,036 円
(目録 WG 文書含む)	
依頼状発送費	9,760 円
報告書コピー代	40,748 円
報告書発送費	10,080 円

4. 部 員

武田 昭子 (刈谷豊田総合病院)

I-1-4. ホームページワーキンググループ

1. 活動報告

2008 年 9 月 ホスティングサービス、ドメイン
維持契約更新

2. 経 費

支出:

ドメイン取得費用	5,040 円
ドメイン取得事務手数料	3,150 円
ランニング費用 (エコノミーコース/CGI 利 用)	5,250 円/月 63,000 円
ホームページビルダー	13,230 円
レンタルサーバ契約変更 (2・3 月分) 差額	

3. 今年度総括

2007 年 11 月のホームページリニューアル時から契約していたレンタルサーバは容量が小さく、増加する情報量に対応しきれなくなったため、レンタルサーバの見直しを検討した。来年度は容量を倍増したレンタルサーバへと契約を更新し、ホームページの内容をより充実させることを目指す。

4. 部 員

佐藤 道子 (兵庫県立光風病院)

I-1-5. 目録サポートチーム

1. 概 要

近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web 版
(通称: Kinki Webcat)

<http://webcat.sunmedia.jp/khlacat/>

2008 年 5 月現在

登録機関数	: 124 機関
登録タイトル数	: 3,508 タイトル
所蔵レコード数	: 24,246 レコード

2. 今年度総括

Kinki Webcat の稼働から 2 年が経過し、登録タイトル数の増加、書誌データの整備が進んでいる。引き続き、最新データへの更新とデータ整合性の保持に努め、合わせて電子資料への対応を進めていく。

2008 年 8 月に、Kinki Webcat の追加・変更についての案内と申し合わせの再周知、およびログインパスワードの変更希望受付を各会員へ送付した。同様の働きかけを今後も年 1 回程度継続して行い、会員の Kinki Webcat の有効利用を促していく。

今年度でサイト構築費用の支払いが完了した。来年度以降は、有料での改修を含め、Kinki Webcat の機能改善を検討していきたい。

3. 部 員

部 長: 春日井泉江 (豊橋市民病院)

部 員: 川野 眞樹 (京都第二赤十字病院)

高須賀京子 (松山市民病院)

林 伴子 (社会保険神戸中央病院)

I-1-6. 会員業績 (当協議会内関係での発表は除く)

- (1) 春日井泉江
病院内部監査の参考資料検索
医学図書館 2008;55(2):185-186.
- (2) 中村雅子
口頭発表 病院図書館員による「代行検索」業務
第25回医学情報サービス研究大会(つくば) 2008.7.12
- (3) 中村雅子
ポスター発表 正式開設となった入院患児・患者のための「親と子のとしょかん」の紹介
第25回医学情報サービス研究大会(つくば) 2008.7.12-13
- (4) 若杉亜矢
最近の病院機能評価の動向 病院機能評価受審について
ほすびたるらいぶらりあん;33(2):119-121.
- (5) 寺澤裕子
第25回医学情報サービス研究大会 参加記
薬学図書館;53(4):341.

I-2. その他

I-2-1. 幹事会

今年度は4回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。

- 第1回 2008年4月18日(金)
大阪労災病院 9名
- 第2回 2008年7月16日(水)
藍野大学 9名
- 第3回 2008年10月24日(金)
大阪労災病院 9名
- 第4回 2009年1月28日(水)
三菱京都病院 7名

I-2-2. 役員会

2009年2月13日、社会保険神戸中央病院において平成20年度役員会が開催された。役員会資料(平成20年度議案書草案)に沿って議事進行し、平成20年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成21年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても同様に審議され、追加訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成21年度会長については西尾晃現会長(社会保険神戸中央病院)が再選された。また、事務局長には林伴子現事務局長(社会保険神戸中央病院)が再選された。会則に則り、それぞれ今年度の第35回総会に諮ることになった。

I-2-3. 会員の状況

会員数:126機関(会員122、賛助会員4)

(2009年2月現在)

入会:1機関(医学中央雑誌刊行会:賛助会員)

退会:1機関(京都保健衛生専門学校)

I-2-4. 対外交流

日本医学図書館協会の第79回総会(2008年5月28~31日)へ個人会員の春日井泉江氏が参加した(当協議会からの派遣)。総会前夜に日本医学図書館協会会員有志による病院図書館の交流会が持たれ、それにも参加した。総会への会員外の参加が不可であるので交流の機会を持つための個人会員の協力は今後も必要と考える。

ライフサイエンス系医学図書館団体ワーキンググループの協力員として幹事の若杉亜矢氏を当協議会より派遣し、会議などに出席し、作業にあたった。

日本図書館協会健康情報研究委員会主催のワークショップ「健康情報を評価する」の開催にあたっては日本医学図書館協会近畿地区会を通じて、広報などの協力要請があった。当協議会からは5名参加し、当日の運営に協力した。

第118回研修会の開催は愛知県刈谷市での開

催であったので、東海地区医学図書館協議会の後援をいただき、東海地区の病院図書館・大学から多数参加があった。

今年度は近畿地区医学図書館協議会、日本薬学図書館近畿・中国・四国地区協議会との協同開催によるシンポジウムは開催されなかった。

議案Ⅱ. 平成20年度会計・監査報告

(収入の部)

単位 円

予 算		決 算	
費 目	金 額	費 目	金 額
前年度繰越金	1,270,759	前年度繰越金	1,270,759
会費	4,410,000	会費	3,470,000
平成20年度		平成19年度会費	60,000
@30,000 × 123	3,690,000	平成20年度会費	3,240,000
@50,000 × 3	150,000	貸助会費	150,000
平成17-19年度未納		入会費	20,000
@30,000 × 19	570,000		
事業収入		事業収入	421,552
会誌購読会費	504,000	19年度購読会費	42,000
平成20年度		20年度購読会費	354,000
@6,000 × 70	420,000	会誌購読料	4,500
未納		刊行物売上	12,000
@6,000 × 14	84,000	メディカルオンライン使用料	52
		研修会参加費	9,000
		利息	2,480
その他			
広告掲載料	987,000	広告掲載料	200,000
25巻	327,000		
26巻	330,000		
27巻	330,000		
計	7,171,759	計	5,364,791

(支出の部)

単位 円

予 算		決 算		摘 要
費 目	金 額	費 目	金 額	
総会費	150,000	総会費	90,236	選挙費用、議案作成費用 特別講師謝礼・交通費
業務委託費	50,000	業務委託費	26,200	会費請求、他
事務費	50,000	事務費	89,506	事務用品、銀行手数料、他
通信費	100,000	通信費	105,350	事務局・各部会連絡会 員通知他
交通費	220,000	交通費	273,030	役員会、幹事会 各部会、JMLA 近畿 地区例会、他
事業費	5,960,000	事業費	3,816,317	
会誌発行費	4,350,000	会誌発行費	2,851,211	会誌 27(3-4)28(1-2)
研修会費	400,000	研修会費	255,272	定例研修会、事例報告会、勉 強会開催経費、配布資料費
目録サポート	600,000	目録サポート	542,456	所蔵目録web版メンテナンス、他
webワーキング	100,000	webワーキング	95,550	活動経費
研究援助	300,000	研究援助	0	
統計調査	60,000	統計調査	71,828	2007年度報告書送料 2008年度調査報告経費
その他の事業	150,000	その他の事業	0	
対外活動費	250,000	対外活動費	172,880	JMLA 総会派遣費、他
資料費	50,000	資料費	20,916	雑誌購読料、他
資料管理費	90,000	資料管理費	0	
会議費	50,000	会議費	31,425	会場使用料、他
予備費	150,000	予備費	0	
雑費	51,759	雑費	0	
計	7,171,759	計	4,625,860	

平成 20 年度会計監査

単位 円

収入	金額	支出	金額
前年度繰越金	1,270,759	総会費	90,236
会費	3,470,000	業務委託費	26,200
		事務費	89,506
		通信費	105,350
		交通費	273,030
事業収入	421,552		
会誌講読費	400,500	事業費	3,816,317
		会誌発行費	2,851,211
メディカルオンライン使用料	52	研修会費	255,272
		目録サポート	542,456
書籍売り上げ	12,000	Web ワーキング	95,550
		研究援助	0
研修会参加費		統計調査	71,828
会員外参加費 (講読会員を含む)	9,000	その他の事業	0
		対外活動費	172,880
		資料費	20,916
		会議費	31,425
広告掲載料	200,000		
利息	2,480	雑費	0
	5,364,791	計	4,625,860

上記決算については、会計監査を終了しました。
平成 21 年 3 月 4 日

田中 文子 (印)

神田 省香子 (印)

議案Ⅲ. 平成 21 年度活動方針

平成 20 年度同様、病院図書館を取り巻く状況の厳しさに変わりはない。医療界全体の厳しい状況はマスコミを賑わすようになったが、医師不足の問題が中心で、病院の機能面についてとりあげられることは少ない。そんな中で病院図書館の存在を認識してもらうのはなかなか困難であるが、安心して安全な医療を提供する基礎となる知識・情報提供の場として機能するよう、担当者がスキルアップし、利用者へ存在感をアピールしていくことが必要と考える。

当協議会は、医療情報を担うエキスパートを養成することを期待されていると従来考えており、専門知識の習得の場として研修会、会誌を

提供し、研修活動に取り組んできた。今後もこれを活動方針の基本と考える。

研修活動としては、従来の研修会に加え、数年かけてでも段階的に実践能力を高めることができるような勉強会や、今年度好評であった夜間開催の勉強会など多彩な企画を提出していきたい。会誌「病院図書館」は平成 20 年度同様、会員のスキルアップにつながる記事を掲載していく。また、初期の会報、会誌など、当協議会関連の資料については散逸を防ぐため、収集・保存の方法を検討していく。ホームページは安全で快適な環境を持つために、レンタルサーバ会社との契約内容を見直し、予算を増加した。KinkiWebcat の改修作業を有料で行う。その参考とするため、会員からの声を広く集めたい。電子メールによるニュースレターの配信は、年 4 回程度を目途に配信する。

幹事のあり方については先年よりの検討課題である。見直しの基礎資料となるアンケート調査は、幹事会において骨子の検討とタイムスケジュールを決めたが、事務局の都合で平成 20 年度も実現できなかった。協議会事業を継続するだけでなく、発展していくためには今以上に人材を必要としている。また、円滑な協議会運営のためには会員の協力が不可欠である。現状を把握し、今後のあり方を検討するためには協力体制についての意見収集を目的としたアンケート調査を実施したい。今一度、会員の責務を考えていただき、さらなる協力をお願いしたい。

また、幹事の選出方法は、一部の会員にかかる負担を減らす試みとして、任期制、当番制、地区代表制など、機関加盟の利点を生かした運営方法が必要と考えているが、今後の検討課題としたい。

平成 18 年度から研究助成金制度を開始したが、平成 20 年度の応募は残念ならなかった。継続の研究もなかなか活発な活動ができていないようである。しかし、研究活動はスキルアップにつながると考え、この事業は継続し、平成 21 年度も年 10 万円、3 年の更新を可として新規・継

続の申請を募集する。

総会への出席を促すために、一定の条件を設け、交通費などの助成を行うことについて、平成21年度には予算化することにした。

対外交流については、従来通り他の図書館ネットワークとの緊密な交流を図っていくが、各団体の研修会などへの参加については、報告義務などの条件を定めた上で助成を行うことで会員へ働きかけていきたい。

以上を総括して、平成21年度の当協議会活動は継続事業を進めつつ、新たな事業・目標を模索し、対外的にも広く協力活動を行い、運営・事業活動については新旧世代の交代を円滑に図っていくことを課題とする。

議案Ⅳ. 平成21年度事業計画

1. 医学文献情報活動

- 医学雑誌現行情報の収集と目録のメンテナンス

2. 教育研修活動

- 研修会・勉強会の開催
- 関連団体の研究・研修会への案内と参加奨励
- 研究助成金制度の継続
- 総会参加助成制度の確立

3. 出版広報活動

- 会誌「病院図書館」の季刊発行
- ホームページの継続と内容更新
- 会誌・会報バックナンバーの収集保存

4. 年次統計などの調査活動

- 年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- 関連団体との交流・連携

議案Ⅴ. 平成21年度予算案

(収入の部) (支出の部)

費目	金額	費目	金額	摘要
前年度繰越金	738,931	総会費	150,000	選挙費用、議案作成費用 特別講師謝礼・交通費
会費		業務委託費	40,000	会費請求、他
平成20年度	4,830,000	事務費	50,000	事務用品、他
④30,000 × 122	3,660,000			
④50,000 × 4	200,000			
平成17-19年度未納		通信費	100,000	事務局・各部会連絡 会員通知他
④30,000 × 31	930,000	交通費	250,000	役員会、幹事会 各部会、JMLA近畿地区 例会、他
④40,000 × 1	40,000			
事業収入	540,000	事業費	6,470,000	
会誌購読会費		会誌発行費	4,350,000	会誌28(3-4)29(1-4) (④70万、諸経費を含む)
平成20年度		研修会費	400,000	定例研修会、事例報告会、 勉強会開催経費、配布資料費
④6,000 × 70	420,000	目録サポート	600,000	所蔵目録web版メンテナ ンス、他
未納		webワーキング	500,000	活動経費
④6,000 × 20	120,000	研究奨助	300,000	
		統計調査	50,000	2009年度調査費用
		総会参加助成金	150,000	2009年度総会用
		その他の事業	120,000	
		対外活動費	250,000	JMLA総会派遣費、他
		資料費	45,000	雑誌購読料、他
		資料管理費	120,000	病図書館蔵資料 (H18-20請求未)
その他		会議費	50,000	会場使用料、他
広告掲載料	1,524,000	予備費	100,000	
29巻	333,000	雑費	7,931	慶弔費、振替費
28巻	290,000			
25-27未納分	901,000			
計	7,632,931	計	7,632,931	

* 総会参加助成金
金額：交通費往復実費～30,000円を限度に予算内で支給。
資格：近畿圏以遠または幹事会で必要と認められた会員。
義務：会誌への参加記の執筆または事例・研究報告の発表。